

通所生活介護評価表

実施時期
回収率

平成28年6月
87%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
環境・ 体制整備	① 利用者の活動等のスペースが十分確保されているか	5	6	2	狭い。
	② 職員の配置数や専門性は適切か	5	8	0	
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか。	6	6	1	すのこの幅要改善
適切な支援の提供	④ 利用者と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	12	1	0	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	12	1	0	工夫してもらいたい。
	⑥ 社会的活動や文化的活動等を通して、社会との接点を持った活動を推進しているか	11	1	0	アート等の活動はとても良い。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか	11	2	0	
	⑧ 日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	2	0	子どもの性格をわかっている。
	⑨ 保護者に対して面談や、悩み等に関する助言等の支援が行われているか	10	3	0	
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	4	1	保護者同士のかかわりを増やしたい。
	⑪ 利用者や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者や保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	0	
	⑫ 利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1	0	もっと様子を深く知りたい。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を利用者や保護者に対して発信しているか	13	0	0	
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	12	1	0	
	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	2	0	防犯、感染症マニュアルの説明がなかった。
⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1	0		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
満足度	⑰ 利用者は通所を楽しみにしているか	11	3	0	
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	10	3	0	靴をちゃんと履いて帰らない。 着替えをしていない。
合計		184	47	4	
割合		68%	0.17%	0.01%	

各項目についての評価及び課題

①	現在、作業訓練室1(1F)、指導訓練室2(2F)を設けています。もう少し広い方が良いと感じています。スペースを広くするために自分たちで設計した事業所にすることを計画中です。
②	職員配置については、通常よりもかなり多く配置しています。(2.5対1)ただ、1対1に近い支援が多く必要であると、職員配置はきりがありません。支援プログラムの工夫を行うことによって対応したいと考えています。
③	①同様、既存の事業所では解決できないことでもあるので、現在、新規事業所建設に向けて計画中です。
④	個別支援計画の立案については、法人理念に基づき、科学的根拠を大切に実態把握表を作成、把握表に基づき、課題及び目標を立てています。なお、内容に対する具体的手立ての豊富さを追求しているところです。
⑤	④での具体的手立てを豊富に準備することは、支援プログラムの豊富さにつながってきます。さらに研修を深め、実践を深めていきたいと思ひます。
⑥	自分たちで作った作物や自主製品(陶芸、絵画、バッチ等々)を自らが売ることがまだできていません。年に数回はその体験を行うことをしていますが、日常的に行えるように、今後はしていきたいと思ひます。
⑦	現在、国保連請求に基づき、その内容を転記して請求及び領収を行っています。単位数が記されたりしていて、わかりにくいところもあると思ひますので、丁寧に説明をしていく機会を設けたいと思ひます。
⑧	指導員の専門性にかかる問題でもあるので、研修を深め、保護者の要望等に応えられるように今後も努力していきたいと思ひます。支援等で気付いたことは遠慮なく指摘してほしいと思ひます。
⑨	指導員の専門性にかかる問題でもあるので、研修を深め、保護者の要望等に応えられるように今後も努力していきたいと思ひます。支援等で気付いたことは遠慮なく指摘してほしいと思ひます。
⑩	自由に参観等ができる日を設定したいと思ひます。(基本的にはいつでもOKですが)
⑪	苦情については、第三者委員への報告及び提言を受け、改善策をまとめ、富士市障害福祉課へは詳細を含め提出しています。保護者通知では詳細の報告をしておりませんので、個々に問い合わせただければと思ひます。
⑫	現在は、主に連絡帳を活用して行い、その都度、伝える合うことは伝え合うように努めています。支援面についての意思疎通等は指導員の専門性にもかかることですので、現在、研修を通して、質の向上を目指しているところです。
⑬	防犯、感染症マニュアル等については、危機管理マニュアルの中に設定してあります。危機管理マニュアルの中身は、火災、地震、不審者、食中毒や感染症、事故・事件、盗難、虐待、行方不明、情報漏えい等のマニュアル、体調の悪い時の観察ポイント等がまとめられています。

全体としての課題

保護者の方々へ伝わっていないことが意外に多い。

- ・重要事項説明書の内容も含め、丁寧に伝える機会を作りたいと思います。
- ・HPやおたよりだけでなく、別の紙媒体での情報発信を行っていきたいと思います。
- ・おたよりは3事業をまとめたものにしていく予定です。

取り組みの報告会を年度末に実施したい。

- ・今年度は研修に力を入れています。取り組みの報告を実施していきます。